

## 2026 年度 定期健康診断実施項目

検査区分	実施検査項目	備考
身体計測	<u>身長・体重・BMI・腹囲</u>	BMI（ボディマス指数）標準体重の基準のことをいいます。BMIが高くなると必然的に肥満度は高くなり、生活習慣病にかかりやすくなります。
視覚	<u>視力</u>	
聴覚	<u>聴力（1000・4000HZ）</u>	
問診	<u>問診（問診票を用いて）</u>	現在の健康状態を把握するために行います。
循環器	<u>血圧測定・心電図検査</u>	
貧血・ 感染症検査	<u>赤血球・血色素量</u> ヘマトクリット 平均赤血球容積（MCV） 血小板 白血球	赤血球・血色素量・ヘマトクリットは貧血の有無を判断する指標となり、さらに MCV は貧血の種類を見分ける指数となります。 血小板は止血機能、白血球は感染の有無を判断する指標となります。
画像診断	<u>胸部X線</u>	胸部X線は肺炎・気管支炎・肺ガンなどの他に、心臓病、脊柱や縦隔の異常の指標ともなります。
肝機能	<u>GOT（AST）・GPT（ALT） γ-GTP</u>	GOT・GPT は肝機能だけでなく、心臓・筋肉の異常も把握できます。 γ-GTP は主にアルコール性肝炎の指標となります。
腎機能	<u>クレアチニン・eGFR</u> 尿酸	クレアチニン・eGFR は腎機能の異常の有無を判断する指標となります。 尿酸は主に痛風の診断に用いられます。
糖代謝	<u>空腹時血糖値</u> <u>ヘモグロビンA1c（HbA1c）</u>	空腹時血糖値ではその時点だけの血糖の状態しか分かりませんが、HbA1c では1回の測定で約2か月間の平均的な血糖の状態が把握できます。
脂質	<u>総コレステロール</u> <u>中性脂肪</u> <u>HDL コレステロール</u> <u>LDL コレステロール</u>	総コレステロール・中性脂肪は肥満の指標となります。LDL コレステロール（悪玉コレステロール）は血中のコレステロールを血管壁に蓄積させ、動脈硬化の原因ともなります。
尿検査	<u>尿糖・尿たんぱく</u> 尿潜血	尿糖は主に糖尿病、尿たんぱくは主に腎臓病の有無や状態を判断する指標となります。
医師診察	<u>問診・聴診・触診など</u>	医師が直接診察し、身体の異常の有無をチェック。病気の早期発見へつなげます。

下線の検査項目は労働安全衛生法で義務付けられた検査項目です。

※eGFR は一部医療機関では未実施